

2009年度 東北大学前期試験 英語解答・解説および配点予想

ここでは英語の満点を200点満点で考えています。学部学科によっては満点が異なる場合がありますが、採点基準は共通であると考えられます。

【分析】

問題	ジャンル	難易度	内容
I	文芸	やや難	音楽が社会生活において果たす役割。
II	科学	標準	数学を基礎とする物理学と現実世界。
III	物語	標準	プラシーボ効果の実例。
IV	和文英訳	標準	エッセイをもとにした下線部和訳。

【解答】

I

問1 歴史を創ってきた人々の文書や言葉を読んだり、それらの人々の姿を絵や写真で見ることがあったが、文化を形成した音を聞くことはなかった。

問2

(B) それでも、教師の中には歴史の授業において、音楽を使う自分なりの方法を見出している者もいる、それは音楽は社会の出来事や信仰の体系を映すものであり、作品のひとつひとつがその時代からの中身がぎっしり詰まったタイムカプセルであるとわかっているからである。

(C) 特定の意見を強調したり、演奏者に個人的だが公の意見を表現させたり、共通の関心事に支持者を集合させるのに役立つ歌は、集団の一体感を強め、他集団との間に境界線を引くことができる。

問3

(2)	(5)	(8)
-----	-----	-----

II

問1

(A) これが真実かどうかに関わらず、彼が実際に落下する物体を使っていくつかの念入りな実験を行ったことは確かである、そしてこのようにして彼が以下の法則を発見するに至った。

(B) 地球を太陽に結びつけていて、銀河を越えて飛び去っていくのを妨げている力は、地球の軌道が2倍になればたった四分の一になってしまう。

問2 物理学者が「理論」という言葉で意味するのは、現実の世界で起こることを実際に観察せずに、数学的に表すことである。

問3

①	②	③	④	⑤
(ク)	(キ)	(ア)	(オ)	(ウ)

III

問1

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
(2)	(5)	(3)	(4)	(1)

問2

- (A) dandelion
- (B) nettles
- (C) dock

IV

(A) Those who have traveled in America often tell me that American culture is homogeneous and that buildings, streets and food are nearly the same wherever they go, which they find monotonous.

(A) の別解

We are often told by those who have visited America that they found nothing new in its buildings, streets or food anywhere in the country and that American culture was monotonous.

(B) This is mostly because I like to economize. In America, buses are the least expensive means of traveling for tourists apart from driving one's own car.

(B) の別解

I do this mostly for financial reasons. Buses are the cheapest transportation for traveling around in America, unless I drive a car myself.

【解説】

I

問1 第一段落の内容をまとめる。

問2

(B) because 以下の副詞節中で know に対する名詞節が and で結ばれている。piece はここでは（音楽）作品のこと。

(C) Songs に対する形容詞節が 3 つ並んで長い主部となって、述語動詞が strengthen と draw の並列。

serve to rally supporters → 支持者を集めるのに役立つ

問3

(2) Better citizens が本文になし。

(5) 音楽によって名声が高まるとは書いていない。

(8) 店のアナウンスに先立って音楽が流れるとは書いていない。

II

問1

(A) Whether ～ 譲歩を表す副詞節。did carry で強調。

, which is how … → このようにして… / came to ～ → ～するようになった

(B) , and prevents は前の binds と共に形容詞節内の動詞。後半は仮定法過去の文。

問2 下線部以下の内容を合わせてまとめる。

問3 ① let you () で動詞の原形が入る。

② 前置詞の後で動名詞、さらに the maximum range を目的語にとれるものが入る。

③ She seemed () で doubtful と並列できる（分詞）形容詞が入る。

④ 過去形その他動詞が入る。

⑤ 単数形の名詞が入る。

III

問1

(ア) 「パパ、痛いよ。(何とかしてよ)」

(イ) 「これ効くかなあ。(たぶん効かないだろうなあ)」

(ウ) 「どんどんひどくなっている」(娘の肌はひどい様子だった)

(エ) 「ちゃんとした dock leaf を探してみよう」(私たちはさらに探した)

(オ) 娘は言った「(本当に治ってきた)」

問2

- (A) Dock leaves が医学的に効かないのと同じように dandelion leaves も効かない。
 (B) Dock leaves は nettles のそばに生えることがよくある。
 (C) 痛みに本当に必要だったのは dock leaf であったとの言葉を真に受けた。

【配点予想】

I

大問計 60点

問1 12点

問2 各12点 (計24点)

問3 各8点 (計24点)

※問1および問2に関しては、下記「和訳および記述型答案内容の判断基準表」を参考に適宜配点すること。

II

大問計 60点

問1 各10点 (計20点)

問2 15点

問3 各5点 (計25点)

※問1および問2に関しては、下記「和訳および記述型答案内容の判断基準表」を参考に適宜配点すること。

●和訳および記述型答案内容の判断基準表

レベル	判断基準	得点率
A	模範解答と同一、もしくはほぼ同一の答案内容。	100%
B	模範解答に比べ若干異なる点はあるものの主旨が明確に把握できており、なおかつ単語、熟語、その他の細かな訳出に関してもほとんどミスが見られない。	75%
C	主旨はかろうじて把握はしているが、単語、熟語、その他細かな訳出に関して、欠落、誤訳が目立つ。	50%
D	主旨も把握しておらず、単語、熟語、その他細かな訳出に関しても欠落、誤訳が見られる。	25%
E	無解答、もしくはそれに近いもの。	0%

III

大問計 40点

問1 各5点 (計25点)

問2 各5点 (計15点)

IV

大問計 40点

(A) 20点

(B) 20点

※下記「和文英訳判断基準表」を参考に適宜配点すること。

●和文英訳判断基準表

レベル	判断基準	得点率
A	模範解答とほぼ変わらぬ英文。	100%
B	模範解答に見られる表現力とはやや隔たりがあるものの、原文の意味はかなり伝わる英訳になっており、英文構造も全体として成立している。単語・表現の適切さや細かな文法性に関してもそれほどのミスが見られない。	75%
C	模範解答に見られる表現力とはやや隔たりがあるものの、英文構造は全体として成立している。ただし、単語・表現の適切さや細かな文法性に関してかなりミスが目立つ。	50%
D	模範解答に比べ隔たりがあるだけでなく、英文構造が全体として成立していない。また、単語、その他の表現が原文の意味になっておらず、文法上の運用ミスもかなり目立つ。	25%
E	無解答、もしくはそれに近いもの。	0%